



上下水道課では、インターン生たちが窓口業務、給排水設備の申請の受付、指定工事店の更新書類の確認、小絹水処理センターの見学などを体験。初めて見る水処理センターに興奮する様子が印象的でした。



市役所の仕事を体験！ 伊奈高校からインターン生が来ました

3年生の半渡遥人さん（写真左）は、総務課のインターンに参加。給与に関する伝票の作成や資料作成などを体験しました。

伊奈高校の夏休み期間中、本市では伊奈高校の1～3年生をインターンシップとして受け入れました。インターン生の皆さんは、庁舎や保育所などに配属され、さまざまな仕事を体験しました。



3年生の石塚陽菜さんは広報係として、おやこ・まるまるサポートセンターの取材や広報紙の編集などを体験しました。



みらい図書館 supported by 成島建設では、インターン生たちがカウンター業務、返却された資料の配架、図書のデータ入力、特設展示の作成などを体験しました。



戦争の実相を学び、平和を築こう コミュニティスペースみらいで「平和パネル展」

8月8日～11日、コミュニティスペースみらい（伊奈庁舎敷地内）で「2026年平和パネル展～高校生が描く原爆の絵と沖縄戦～」が開催されました（主催：2026年平和パネル展実行委員会）。来場者は、広島市の高校生が描いた絵や沖縄戦の写真を通じて、戦争の悲惨さを実感していました。同会事務局の原田英治さんは「このような悲惨な現実が過去に起こったということを知ってもらい、戦争を無くし平和をどう構築するか、一緒に考えてほしい」と話しました。

悔しさをバネに、さらなる高みへ 市内在住の高校生がハンドボール全国大会で躍動

8月中旬、奈良県で「高松宮記念杯第77回全日本高等学校ハンドボール選手権大会」（インターハイ）が開催され、市内在住の地引透空さん（高校2年）が所属する藤代紫水高等学校が出場しました。惜しくも上位進出は逃しましたが、地引さんは「今大会での悔しい結果を忘れることなく、日々の練習成果を来年こそ十分に発揮できるよう、さらなる高みを目指して練習に励みます」と力強く話してくれました。

